

応援団が見つけた注目企業

PICKUP COMPANY

新潟の企業の隠れた魅力・実力を、応援団が徹底リサーチ！
企業研究・企業理解をさらに進めるヒントが詰まっています。
関心のある企業については隅々までチェックしてくださいね。

株式会社トライテック

インクジェット装置を様々な業界へ 事業拡大でさらに広がる活躍のフィールド



常務取締役／高橋一生氏

株式会社トライテックは、工場や研究施設などで使われる大型の産業用インクジェットプリンターを開発・製造・販売しています。同社のモノづくりは、ベースとなる装置を顧客仕様にカスタマイズするオーダーメイドスタイルが基本。外壁をはじめとする建築材料やプリント基板などの電子部品、様々な素材のパッケージなど、多様な製品に印刷できるインクジェットプリンターを提供することであらゆる業界のニーズに対応しています。現在は、量産対応の規格品装置づくりへのチャレンジに向けて着々と準備中。活躍のフィールドをさらに広げることを目標としています。

基本データ

設立／1994年3月 資本金／4000万円 本社所在地／新潟県柏崎市軽井川931番地35（柏崎フロンティアパーク内）
連絡先／0257-24-7113 社員数／51名（2021年3月現在） 売上高／12億円（2020年2月期）

貴社の事業を教えてください。

主に工場や研究施設などで使われる大型の産業用インクジェットプリンターを、お客様の要望に合わせカスタマイズして提供しています。ラベルでは表現できない繊細なデザインを施した酒瓶や、切子の趣きを印刷で表現したボトル、レンガ調や石造り調のプリントで意匠性を高めた建築資材など、当社ギャラリーにある印刷サンプルの数々は、全てトライテックのインクジェットプリンターによってつくられたもの。当社の産業用インクジェットプリンターがお客様の多様なニーズに対応できることが一目瞭然だと思えます。



まず、「産業用インクジェットプリンター」とは何か。そもそも「インクジェット」とは印刷方式の一つです。例えば、版を必要とするほかの印刷方法は、印刷する画像を変えるたびに版を作成しなくてはなりません。また版を印刷物に接触させるため、それが難しい媒体には適さないことやインクの使用量が多いことなども課題でした。その点、インクジェット印刷は印刷用のデジタル画像に基づき、インクジェットヘッドから必要な分だけインクを吐出し、印刷物に着弾させて印刷するデジタル方式のため、画像ごとに版を製作する必要がなく、多品種小ロット生産にも材料を無駄に

せず、短納期で対応できます。また、接触しなくても印刷が可能ですので、円筒物や凹凸のある素材にもプリントできます。当社の「産業用」インクジェットプリンターとは、家庭用やオフィス用とは異なり、これらのインクジェットの特徴をお客様製品の生産にご活用頂くための生産設備なのです。

貴社の強みはどこでしょう。

一言で表すと「技術力」です。当社のインクジェットプリンターは高い生産性を誇り、生産設備としての耐久性やメンテナンス性を備えています。ベースとなる装置をお客様の要望に合わせてカスタマイズするため、そこに必要な機械設計、電気設計、ソフトウェア開発などのプロフェッショナルがしっかりと基盤を固め、信頼のモノづくりを支えています。こうした複合技術を高レベルで実現することが求められるため、生産設備としての産業用インクジェットプリンター事業に取り組む企業は少なく、県内では当社のみ、全国的にも10数社しかありません。その稀少性も強みの一つと言えるでしょう。



余談ですが、当社の事業はソフトウェア開発からスタートし、当初はテスト機や画像検査装置などを手がけていました。それらはインクジェットプリンターの画像処理においても重要な機能なので、創業から培ってきた技術が今もしっかりと生かされています。

また開発だけでなく、印刷評価テストから納品サポートまで一貫対応し、完成された最終製品としてお客様に納入する体制が整っているのも当社の特徴。もちろん、メンテナンスにも丁寧に対応します。技術力や開発力に加え、スタッフ対応力の高さもお客様からの信頼につながっていると自負しています。

働く環境について教えてください。

当社が大切にしているのは技術力、それはすなわち社員です。だからこそ一人ひとりが働きやすく、心置きなく仕事に打ち込める環境づくりにも注力しています。例えば、年齢に関わらず成果を重視し、社員の努力に報いるための体制があります。また有休も非常にとりやすく、有休取得率は例年8割を維持。そういった取り組みの成果は、離職率2~4%という低い数字にも表れていると感じています。今後もワークライフバランスの向上に向け、必要に応じた維持改善に努めます。



職場は人間関係も良好で和やか。厳しい上下関係もなく、成果を生み出すために活発に意見交換する気風があります。近隣の理系大学・高専などからの多くの理系出身者が、当社の装置の設計開発・設置立上げなど、自らの専門性を生かしてより良い装置づくりに活躍しています。また文系出身の社員も、技術営業・輸出入・法務知財・総務など、それぞれの持ち場で活躍しています。専門知識は入社後の社内講習会やOJTなどの教育訓練の実践によって、ISO9001の仕組みの中で行われる教育制度の中で着実に身につけられるので安心してください。

この仕事の醍醐味は、カスタマイズ対応を行うことで、常に新しい製品にトライできることだと考えています。当社は、下請けではなく最終製品として、産業用インクジェットプリンターをお客様に提供しており、地方にいながらしで国内外の多くの大手企業と渡り合うことができるのも、やりがいの一つと言えるでしょう。

今後の展望をお願いします。

これまで国内外の多くのインクメーカーやインクジェットヘッドメーカーと協力関係を結ぶことで、難易度の高い印刷媒体への上質な印刷を施すことができるインクジェットプリンターの提供を可能にできました。産業用インクジェットプリンターは、これからも拡大する事業だと考えています。ペーパーレスの時代となり、確かに紙印刷は縮小傾向にあるかもしれませんが、媒体を選ばず、多品種小ロット生産に適した産業用インクジェットプリンターは紙媒体以外の印刷でも今後も広く必要とされるもの。また無駄がなく環境にも優しいので、従来の印刷の置き換えにもマッチしており、まだまだ伸びる事業だと確信しています。



一方で、需要が高まっている量産品への対応も始めました。現在は、軟包装フィルム印刷用インクジェットプリンターの規格品の立ち上げに取り組んでいるところです。また円筒物印刷用インクジェットプリンターの社内規格品も同時進行するなど、新たな展開に備えています。事業拡大に伴い、現社屋両隣の2区画の土地を購入し、新社屋建設の予定もあります。得意とするカスタマイズ製品と、新たにスタートする量産規格品、それらを両輪とすることで、さらなるメリットを生み出しながら成長したいと考えています。

取材を終えて…

ギャラリーで見た印刷サンプルは、思わず「これって本当に印刷ですか？」と聞いてしまうほどの想像を超える仕上がり。インクジェットプリンターの可能性に驚くばかりでした。

多様で高レベルな技術力と、それらを複合的に発揮できることの稀少性、大手企業との直接取引など、信頼材料に事欠かない同社。「社員こそ最も大切」と考え、働きやすい環境づくりに取り組む姿勢も印象的でした。

同社は常に新しい製品づくりにチャレンジしているため、日々同じ繰り返しではありません。そこに面白みを感じ、どんどん未体験のことに挑戦したいという人にとっては、やりがいに満ちた職場だと思いますよ。